ジュニアガイド

第74回 春の院展

出品作品191点の中から
いくつかの作品を
「画家のことば」とともに
ご紹介します。

画家のことば

「自然の中で鍛えられ、
学ぶ事を身に着けた植物は、
存在感を消しながらも
力強く生きている。」

宮廻 正明《野生名色》

日本画とは？

日本で古くからつたわる絵画のこと。明治時代に入ってきた「西洋画」に対して「日本画」という名前がつきました。主に和紙や絹に天然の鉱石などを砕いて作った「岩絵具」を、牛や鹿などの動物の骨や皮などを煮てつくった「膠」を接着剤にして水で溶いて刷毛や筆を使って描きます。

日本美術院とは？

横浜出身の岡倉天心が中心となって1898(明治31)年に創立しました。この団体は、西洋美術のよいところと東洋の伝統を合わせて、自分たちの時代に合った新しい日本画を生み出すことを目的としています。

おたがいを仲間とし学びあいながら、絵を自由に研究する心を大切にして、今も多くの画家たちが日本美術院のひらく展覧会「院展」への入選をめざしています。

質問Qの答えA

- Q1. → A1. 若葉の美しい「**春から初夏にかけての光景**」。
- Q2. → A2. 電車好きの画家が、「**新幹線の窓からみた風景**」。
- Q3. → A3. 姉妹はお誕生日会で「**お祝いの歌**」を歌っているようです。
- Q4. → A4. 画家が白い羊の群れの中で見つけた「**黒い羊**」。

第74回 春の院展

2019年7月12日(土)～7月21日(日)

そごう美術館[横浜駅東口 そごう横浜店6階]

〒220-8510 横浜市西区高島2-18-1

電話 045(465)5515(美術館直通)

http://www.sogo-seibu.jp/common/museum/

[編集・発行]そごう美術館　2019年7月

SOGO 横浜

www.sogo-gogo.com

作品になにが描かれているか、観察してみよう！

質問Qの答えAは裏面にあります。はじめにいろいろ想像してから読んでね！

人物画

宮北 千織《姉、妹》

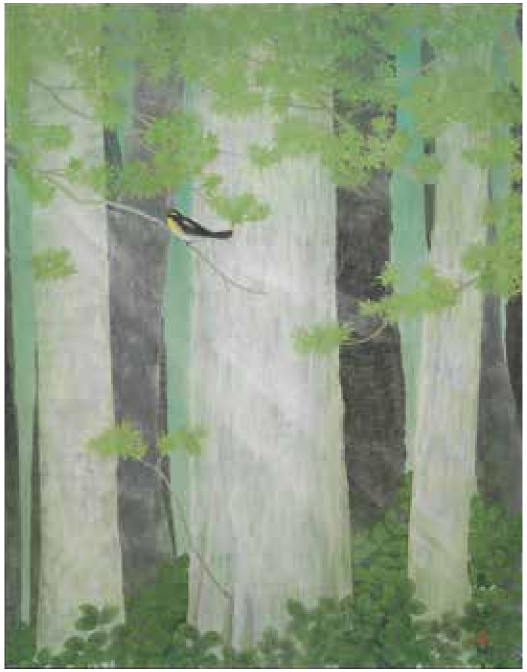
画家のことば

「歌う人の姿を描きたいと思っていました。」

壁には飾りつけの後の
マスキングテープが残っているよ。

Q3. ちょっとおしゃれをした二人は、どんな歌を歌っているのかな？

風景画



那波多目 功一《そよ風の中に》

画家のことば

「小鳥と共に過す、ひとときの安らぎの情景を描いた。」

そよ風が木の葉を
やさしく揺らしているよ。

Q1. 季節はいつ頃かな？

女性は目を閉じて、
静かに
佇んでいるね。

Q4. 後ろに描かれている動物はなにかな？

西岡 悠妃 春季展賞（郁夫賞）《祈りの時》

画家のことば

「この動物を見て力強く生きている威厳を感じた。自分も強く生きたいと祈りながら描いた。」

田んぼの水面が
まるで鏡のように
架線柱や木々を
写しているね。

Q2. 画家はどこから見てこの風景を描いたのかな？

小田野 尚之《映る》

画家のことば

「地元の人にとっては当たり前の風景でも、私の目には幻想的な光景に映った。」